

後期課程 芸術鑑賞 「千と千尋の神隠し」

5月27日(金)、後期課程生徒は福岡市の博多座にて、「千と千尋の神隠し」の舞台を鑑賞してきました。当初、芸術鑑賞とウォークラリーを計画していたのですが、コロナウイルス感染状況を鑑み、ウォークラリーは夏休みに延期し、芸術鑑賞のみ感染対策を徹底させた上で実施しました。

【生徒感想より】

- ・舞台が回ったり、動いたりする仕掛けがあって見るのが楽しかった。上白石萌音さんたちの演技は、遠くからでも何をしているかが分かったし、声の強弱がきちんとあって、小さくてもよく聞こえていたからすごいと思った。そして、竜のときのハクや川の主の動きが本物みたいで、動かしている人はすごく大変だっただろうなと思った。(7年)
- ・「千と千尋の神隠し」はテレビで見たことはあったけど、実際の人が出て演技をして、とてもすごいと思いました。それから、最もびっくりしたことは、裏で本当に演奏している人たち(生演奏)がいたことです。主人公の上白石萌音さんは、ずっと出ていて、長時間ずっと演技をし続けていたので、とてもすごいと思いました。テレビで見るのとは全く違って、見に行けて良かったです。とてもいい体験ができました。(8年)
- ・「千と千尋の神隠し」を鑑賞して、一人一人の今までの努力を感じることができました。主人公の千尋を中心に劇がつくられていて、一人一人の劇に対する思いを感じ取ることができました。具体的には、アドリブがあったり、竜が本当に飛んでいるように見せるために動きを大きくしたり、激しくしたり、細かに動いたりしていたところがすごいなと思いました。劇を見た瞬間に広がる劇の楽しさ、実際の風景を感じさせるところ、おもしろさなどを感じながら見ることで良かったです。おもしろさだけでなく、感動や驚きも感じることができました。この劇を見て、自分も浮立などに活かしていきたいと思いました。(8年)
- ・「千と千尋の神隠し」を見て、いろいろな動きが細かく表現されていて、とてもすごいと思いました。自分は舞台を見るのが初めてだったので、道具なども細かく作られていたし、小さくなっていく場面は本当に小さくなっていくように表現されていて、びっくりしました。役者さんの動きが、細やかで、また限られたステージの中でも広々と使って演技されていて、また、いろいろな舞台を見たいと思いました。(9年)

学校運営協議会 5月31日(火) 地域学校協働活動事業もスタート!



学校運営協議会制度(コミュニティスクール)は、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」をすすめる法律(地教法第47条の5)に基づいた仕組みです。

本年度は以下のメンバーで構成し、年3回の定例協議会を行うとともに、学期末に学校評価をしていただきます。

【令和4年度学校運営協議会】※敬称略

学校評議員 山口 久幸(会長)

学校評議員 栗原 愛子

学校評議員 木村 千佳

学校評議員 高山 和久

PTA会長 江田 健二(副会長)

区長代表 北原 徳己

地域づくり協議会会長 栗原 昭典

※ 学校からは校長、教頭、主幹教諭2名



このような貴重な体験ができるのも、PTA活動での資金提供があることと矢部地区全世帯からの校納金提供があるおかげです。この場をお借りして、深く感謝申し上げます。今回、コロナウイルス感染等の理由で参加できなかった生徒の代金は博多座のご厚意で返金していただくこととなりました。返金分はPTA活動費に戻します。

3年 栗原昭夫さんの指導による摘茶体験(堀下幸裕さん茶畑)と茶工場見学
1~3年放課後寺子屋(鬼塚八千代さん、栗原幸子さん、中司薫さん)と全学年の英会話教室(砂川さんご夫妻とアクバ先生)



